

日本財政の 持続可能性を考える

2019年11月12日（火）

14:30～16:00（受付開始14:00～）

大阪大学中之島センター7階 講義室703

日本国の歳入と歳出からなる「財政」は、毎年赤字が続いており、借金は毎年膨らんでいる。世界的にも異例の状態にまでなっている。今後、借金を返済していくのは将来世代である。しかしながら、今後、必要となる歳出は、高齢化により膨らむことが予想されている。歳入を増やすため、消費税率の引き上げが行われつつあるが、現在の計画では、財政赤字の不足分は十分にまかなえない状態が続く。財政の持続可能性を高めるために、国民はどのような覚悟が必要なのかを考える。

講師
赤井 伸郎 氏

（大阪大学大学院
国際公共政策研究科教授）

【専門分野】
公共経済学、地方財政、新公共経済

<講師略歴等>

平成 3 年3月 大阪大学経済学部経済学科卒業
平成 10 年6月 大阪大学経済学博士学位取得
平成 23 年5月 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授

2003年11月刊行の「地方交付税の経済学」有斐閣（佐藤主光氏・山下耕治氏との共著）は第47回日経・経済図書文化賞を受賞。2006年11月刊行の「行政組織とガバナンスの経済学—官民分担と統治システムを考える—」（有斐閣）は、第48回エコノミスト賞を受賞。

平成27年8月より内閣府経済財政諮問会議専門委員に就任。また財務省、総務省、国土交通省、文部科学省の委員にも就任。

【申込方法】 **10月31日（木）** までに、お名前、ご住所、電話番号、Eメールアドレスを明記のうえ、OFC事務局宛にFAX・郵便・Eメールいずれかでお申し込みください。

【定員】 先着100名様 ※先着順に申込みをお受けし、受講可否に関わらずご連絡いたします。

【受講料】 無料

【お問い合わせ・申込先】大阪大学大学院経済学研究科・経済学部 オープン・ファカルティ・センター 事務局

【住所】〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-7

【電話】06-6850-5259 【FAX】06-6850-5268 【Eメール】ofc@econ.osaka-u.ac.jp